

R 立命館大学大学院

RITSUMEIKAN

リサーチプロポージャー コンテスト

2016年度
募集要項



募集概要

自分の研究を他者に伝えるために

みなさんの研究成果は、いずれ論文にまとめられ、社会に問題提起したり、課題の解決策として広く発信されていくことでしょう。しかし、そこに至るためには自分の研究計画をきちんとデザインする力が必要になります。「研究計画をデザインする?」「リサーチプロポーザルはいつも書いている」と思っている大学院生のみなさん、この機会にリサーチプロポーザルを書いて、他者から客観的に見てどのように評価されるのか、チャレンジしてみませんか。たくさんのご応募を心より願っています。

また、本申請書は、日本学術振興会特別研究員の申請書式とほぼ同じ項目となっております。日本学術振興会特別研究員の募集は毎年行っておりますので、こちらの方も積極的に申請してみてください。

目的

- (1) 研究構想力の向上
- (2) 自身の研究内容や専門知識を、広く社会に伝える力を養う
- (3) 汎用的な文章力の向上

応募資格

応募締切日現在、本学大学院に在学する大学院生

募集分野

文系・理系

募集期間

2016年9月1日(木)～2016年10月21日(金) 17:00まで

応募方法

データにて、下記メールアドレスに送付してください。

d-cp@st.ritsumei.ac.jp

審査結果 発表

2016年11月下旬
応募者の連絡先住所に審査結果を送付します。

表彰式

2016年12月中旬
表彰式では、最優秀賞受賞者のプレゼンテーションを行います。表彰式終了後は、応募者参加による交流会を開催します。

賞

大賞 各分野1名(賞状、副賞図書カード3万円分)
優秀賞 各分野2名(賞状、副賞図書カード1万円分)
敢闘賞 各分野3名(賞状)

主催

立命館大学大学院キャリアパス推進室

お問合せ先

立命館大学大学院課
TEL 075-465-8195
Mail d-cp@st.ritsumei.ac.jp

応募について

応募に関して

- (1) 応募は1人1件とします。(共同研究は不可)
- (2) 応募内容は応募者本人が作成したものに限りします。
- (3) すでにこのコンテストに応募されたことがある方は、同じ内容での応募はできません。その後の研究進捗状況を反映させるなど、内容をブラッシュアップしたものをご提出ください。
- (4) 応募書類は返却しません。各自、応募書類をコピーするなどして控えをとっておいてください。
- (5) 応募の条件を満たしていないもの、提出方法について不備のあるものは審査の対象外とします。
- (6) これまでの研究経過および研究成果に関して、研究倫理にもとる重大な虚偽が発見された場合は、「立命館大学学生懲戒規程」にもとづき厳しく対処します。
- (7) 審査に関するお問合せには応じられません。
- (8) 視覚障害などにより図で示せない場合等については大学院課に相談してください

作成要領

- (1) 応募用紙は立命館大学大学院キャリアパス推進室ホームページよりダウンロードしてください。応募様式は、本コンテスト所定のものを使用し、本文のフォントサイズは10.5ポイントを使用して作成してください。フォントサイズ、行間、様式の変更、所定様式以外の用紙の追加、所定枠を超えてのページの追加は認めません。

大学院キャリアパス推進室ホームページ
http://www.ritsumei.ac.jp/ru_gr/g-career/news/article.html/?id=138
- (2) 設問1「研究の概要図」(応募用紙P2)については、応募用紙に記載した研究の内容を図式を用いて概略図を作成してください。

昨年度の受賞者の概要図は以下のURLから参照できます。
http://www.ritsumei.ac.jp/ru_gr/g-career/news/article.html/?id=125
- (3) 応募書類はパソコンで作成してください。
- (4) 応募書類は日本語または英語で作成してください。
- (5) 図表等を用いて、必ずしも専門や前提知識を共有しない読者を想定して作成してください。
- (6) 応募書類はPDFデータを提出してください。(d-cp@st.ritsumei.ac.jp)

審査について

審査基準

以下の審査項目について、審査基準(1)論旨・形式の一貫性、(2)分かりやすさ、(3)知的な示唆、(4)研究計画・提案の魅力の観点から審査を行う。

(1) 研究の概要図

概要図が、プロポーザルの要点を押さえ、分かりやすく、かつ魅力的に作成されているかについて評価する。

(2) 研究の目的・内容

研究の目的が具体的かつ明確に示されているか、研究目的を達成するための方法、計画が練られたものになっているか、論旨・形式に一貫性があるか、知的な示唆に富んでいるかについて評価する。

(3) 研究の特色・独創的な点

研究課題を設定する視点に特色や独創性が認められるか、研究が完成したときに予想されるインパクトおよび将来の見通しがあるか、論旨・形式に一貫性があるか、知的な示唆に富んでいるかについて評価する。

(4) 研究の背景

研究の背景について、これまでの研究状況を踏まえ、参考文献を挙げながら説明できているか、論旨形式に一貫性があるかについて評価する。

審査方法

(1) 審査は、立命館大学大学院キャリアパス推進室のもとに設置する審査委員会において、書類審査により行います。

(2) これまでの研究経過および研究成果に関して、研究倫理にもとる重大な虚偽が発見された場合は、「立命館大学学生懲戒規程」にもとづき厳しく対処します。

【個人情報の取り扱いについて】

主催者が立命館大学大学院リサーチプロポーザルコンテストの実施に際して取得した個人情報は、学校法人立命館個人情報保護基本方針に基づき適切に取り扱います。但し、受賞者の氏名・所属(研究科名・課程等)、応募用紙の「研究の概要図」は受賞者の発表時および次回のコンテストの広報時において、ホームページ上で公表・公開します。

受賞者の声

～日本学術振興会特別研究員採用に向けて～

(1) 受賞者

西田 勇樹さん（当時 文学研究科M1）

(2) 経歴

2014年 文学研究科博士課程前期課程入学

2016年 文学研究科博士課程後期課程入学

※2016年度より日本学術振興会特別研究員 DC1採用



(3) 受賞者の声

リサーチプロポーザルコンテストに応募したきっかけは、「いつか学振（日本学術振興会特別研究員）の申請書は書くのだから、試しに書いてみよう」というちょっとした考えからでした。その結果、あまり自信はありませんでしたが敢闘賞を頂くことができました。しかし、それは最優勝ではなかったのが悔しい思いをしました。

コンテストでの執筆経験や悔しさが、後の学振申請においてどのように影響したかのは自分でもわかりません。指導教員の先生に学振申請書を見ていただいたとき、「一体何を言いたいのか全くわからない」と返ってきたくらいなので、内容のよさに影響しなかったのかも(笑)。しかし、コンテストの経験からどの項目はどのように書けばよいのかわかっていたので、学振ではスピード感をもって書くことができました。執筆の生産性を高めることは、短期間での研究洗練化やたくさんの人に申請書を見ていただけることにつながります。それが、採用にまでこぎつけられた理由かもしれません。これから学振を書く人も、まずは書いてみようくらいの動機でコンテストに応募してみてください。ちょっとしたきっかけで遠くの成果に近づけるかもしれません。